

令和 5 年 3 月 1 5 日

関係各位

益田地区里親会長
高壽 毅

益田地区里親会だより第 8 号について（送付）

平素より里親会活動の推進につきましてはご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、この度「益田地区里親会だより第 8 号」を発行いたしましたので、関係の皆様でご覧ください。

今後とも、里親会へのご支援等よろしくお願いいたします。

〒698-0041

益田市高津四丁目 7 番 47 号

益田地区里親会事務局

（益田児童相談所内）

担当：岩本

TEL 0856-22-0083

FAX 0856-22-0075

～益田地区～ 里親会だより

第 8 号
(令和5年3月発行)

知ってください
「里親」のこと



◆発行：島根県益田地区里親会・島根県益田児童相談所
〒698-0041 島根県益田市高津四丁目7番47
(益田児童相談所内)
TEL：(0856) 22-0083 FAX：(0856) 22-0075
島根県里親会 HP www.shimasato.jp



■ 関わりを大切に

益田地区里親会 会長 高壽 毅

2022年の令和4年度より、益田地区里親会の会長の任に就かせていただいております高壽です。
若輩者ではありますが何卒よろしくお願い申し上げます。

私の話で恐縮ですが、令和4年度は里親としてだけでなく、それまでの年より多くの子どもたちに接することが多い一年になりました。

その中で「子どもに対しても人と人との関わりという意識」がとても大切だと改めて感じました。

もちろん里親として、子どもたちが心身ともに健康に育っていけるよう導いてあげるといことはとても重要なことですが、子どもたちも大人をしっかり見ていると思います。

子どもたちとしっかり目線をやり取りしながら対話することで、子どもたちも話したいことは話し、楽しむときは一緒に楽しむことができ、そこから信頼関係というものが芽生え育っていくものだと感じました。

現実的なところでは、未だに感染症の行く末も未知な部分が多いため、人と人との物理的な接触については一歩引かなければならない状況でもありますが、子どもたちに多くの大人たちが正しく関わっていき、子どもたちも私たち大人も健康に育っていけるような社会になるよう願っています。

ありがとうございました！！

●今年も、**益田市社会福祉協議会様**から補助金、**津和野町社会福祉協議会様**、**吉賀町社会福祉協議会様**から助成金をいただきました。地区活動の貴重な財源として、里親制度の普及啓発等の活動に使わせていただいております。

●今年も、**島根県電気工事工業青年部様**より、島根県里親会に「里子奨励金」をいただきました。「里子さんたちのために役立てて欲しい」と、長年にわたり御寄付をいただいております。寄付金は、各地区里親会で里子たちのために大切にに使わせていただいております。

益田地区里親会 会員数

(令和4年4月1日現在)

※ファミリーホームを運営する里親含む

25世帯	養育里親	元里親 3世帯	合計 28世帯
	うち兼養子縁組里親 4世帯 うち専門里親 4名		

■ ～主な活動内容～

啓発活動「ますだ産業祭」

R4.11.6（日）



前日の事前準備では、8名あまりの里親さんなどにご協力頂き、500セットの袋詰めなどを行いました。

当日は里親さん5名と事務局で、啓発グッズの配布やパネル展示を行いました。好天に恵まれて来場者が多く、予定の時間よりも早くに全てを配り終え、多くの方に里親制度を知っていただく機会となりました。

この日グッズを受け取り、「里親になりたい」と相談に来て下さった方があり、活動の成果を実感しました。（事務局）

益田地区里親研修会

R4.11.23（水・祝日）

「真実告知」をテーマに、公益社団法人家庭養護促進協会の米沢普子先生にご講演いただきました。益田合同庁舎を主会場にしたオンライン形式で開催し、県内他地区の里親さん、児童相談所職員など、50名あまりの参加がありました。

真実告知には、血のつながりについて子どもに説明することもちろん含みますが、子どもの生い立ちや現在に至った経過などの説明も含みます。子どもの知る権利を保障するために、より早い時期から子どもの気持ちに寄り添いながら伝えていく必要があります。

様々なポイントを分かりやすく教えていただき、子どもに真摯に向き合う大切さを学ばせていただきました。（事務局）

全国里親研修会（オンライン参加） R4.10.8（土）～10.9（日）

基調講演では、一卵性双生児による検証で、同じ遺伝子同じ環境でも異なる才能が芽生える、つまり遺伝子や環境のせいでその子の才能が決まるのではなく全ての子どもに才能の可能性があるのでという希望あるお話でした。自分自身一卵性双生児なので興味深い事でした。

また、元国立武蔵野学園長による講演では「子どもにも大人と同じ権利（自分の出自、自分の親について知る権利）がある事を、幼少期から子ども自身が知り、自らの人生に幼少期から参画するように図るアドボカシー事業（子どもの意見を聴き意見の表明を代弁する）を強化していこうとしている」ということについて聞きました。

更に西澤氏は「親から大切にされたと感じることの出来なかった埋め直しをすることが出来るのは、家庭に代わって里親という家庭環境のもとで養育されるということである」と話されました。

大会は後日オンデマンド配信もされ、自宅にいながら繰り返し全ての講演やユースの声などを聞く事もでき、多くの子ども達が温かい家庭で育てられることをあらためて願いました。（里親：白上）

～おめでとうございます！～

●**岩本里親ご夫妻**が、多年地区里親会の発展と里親の資質向上に努め、子どもの健全育成と自立に寄与された功績により「**島根県各種功労者表彰**」を受賞されました。

引き続き地区の先輩里親としてご活躍頂きたいと思います。



益 児 号 外
令和5年3月15日

関 係 各 位

島根県益田児童相談所長
益 田 地 区 里 親 会 長

里親制度ポスターカレンダー『里親になりませんか』（令和5年度版）
の掲示について（依頼）

児童福祉の推進につきましては、平素からご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、様々な事情により自分の家庭で暮らせない子どもたちを、児童福祉法に基づいて個人の家庭に迎え入れ、温かい愛情と十分な理解を持って養育していただく「里親制度」について、普及啓発、委託促進及び里親の新規開拓に取り組んでいるところです。

つきましては、別添のとおりポスターカレンダーをお送りしますので、趣旨をご理解の上掲示についてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<担当>

島根県益田児童相談所
（益田地区里親会事務局）
岩本

TEL 0856-22-0083

FAX 0856-22-0075